

○テレマークスキー・ステージⅡ

1. 種目の特性に応じた基礎理論

(1) 集合講習

受検者は所定科目を受講する。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 外国語 ○力学 ○救急法 ○スノースポーツの変遷 ○技術指導法
○雪山の安全対策論 ○指導者論・技術検定（メダル）
○対象に応じた指導（障がい者スキー）

ロ. 採点方法

会長が委嘱した講師またはイグザミネーによって採点し、100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

(2) 通信講習

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 外国語 ○力学 ○救急法 ○スノースポーツの変遷 ○技術指導法
○雪山の安全対策論 ○指導者論・技術検定（メダル）
○対象に応じた指導（障がい者スキー）

ロ. 出題及び採点方法

会長が委嘱した講師またはイグザミネーが出題し、通信講習修了後最低3カ月間でレポートを提出する。採点は出題者が行い、100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

2. 実 技

(1) 集合講習

所定の集合講習修了後に検定を行う。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- フロントステップターン ○テレマークターン・ロング
○テレマークターン・ショート ○総合滑降

※ゲート滑降

ロ. 採点方法

会長が委嘱した2名の講師またはイグザミネーによって採点し、2名の合計点とする。採点は200点満点とする。

※ゲート滑降は体験のみとする。

ハ. 合 否

140点以上を合格点とする。

3. 指導実習

(1) 集合講習

所定の指導実習の集合講習修了後に指導の検定を行う。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 指導計画の作成 ○ 個人指導 ○ 集団指導 ○ 対象に応じた指導
- 指導実施後の評価

ロ. 採点方法

会長が委嘱した2名の講師またはイグザミネーによって採点し、2名の合計点とする。採点は200点満点とする。

ハ. 合 否

140点以上を合格点とする。

○テレマークスキー・ステージⅢ

1. 種目の特性に応じた基礎理論

(1) 集合講習

受検者は所定科目を受講する。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 外国語 ○ スノースポーツ産業の現況 ○ 施設・経営論
- トレーニング論・基礎と専門 ○ コンディショニング ○ 技術論
- 技術指導法 ○ スキーの山岳と気象・雪崩

ロ. 採点方法

会長が委嘱した講師またはイグザミネーによって採点し、100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

(2) 通信講習

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 外国語 ○ スノースポーツ産業の現況 ○ 施設・経営論
- トレーニング論・基礎と専門 ○ コンディショニング ○ 技術論
- 技術指導法 ○ スキーの山岳と気象・雪崩

ロ. 出題及び採点方法

会長が委嘱した講師またはイグザミネーが出題し、通信講習修了後最低3カ月間でレポートを提出する。採点は出題者が行い、100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

2. 実 技

(1) 集合講習

所定の集合講習修了後に検定を行う。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○テレマークターン・ロング ○テレマークターン・ショート

○総合滑降（規制<リズム変化の規制>） ○フリー滑降（不整地含む）

※ゲート滑降

ロ. 採点方法

会長が委嘱した3名の講師またはイグザミネーによって採点し、3名の合計点とする。

採点は300点満点とする。

※ゲート滑降は体験のみとする。

ハ. 合 否

240点以上を合格点とする。

3. 指導実習

(1) 集合講習

所定の指導実習の集合講習修了後に指導の検定を行う。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○ 指導計画の作成 ○ 個人指導 ○ 集団指導 ○ 対象に応じた指導

○ 指導実施後の評価

ロ. 採点方法

会長が委嘱した3名の講師またはイグザミネーによって採点し、3名の合計点とする。採点は300点満点とする。

ハ. 合 否

240点以上を合格点とする。